

遊びと文化の融合

— オランダの遊園地エフテリングの事例 —

石川 恭 [愛知教育大学]

キーワード：遊び 文化 遊園地

オランダ南部にある遊園地エフテリングは、1952年に設立され、周辺のスポーツ施設をあわせると65ヘクタールの広さをもつ。この遊園地の特色は、園内におとぎ話を模したエリアが存在することである。1992年には、世界遊園地大賞を受賞し、世界で最も優れた魅力ある遊園地としての評価を受けた。2010年のデータでは、年間400万人の入場者があり、オランダのみならず世界中から人々が訪れている。

この遊園地の魅力を支えているのは、前述したおとぎ話の森である。子どものころ読んだ懐かしいおとぎ話が、園内に趣向を凝らした施設として点在している。森の中を歩いていくと、アンデルセンの童話「マッチ売りの少女」「赤い靴」、グリムの童話「ヘンゼルとグレーテル」「狼と7匹のこやぎ」「赤ずきん」、その他、アラビアのおとぎ話やイギリスの昔話など多くの館がある。また、園内の売店ではエフテリングにあるおとぎ話の館についての解説と原話がまとめられた本が売られている。訪れた子供たちは、これを購入し、夜、ベッドの中で親から詳しいストーリーを読んでもらうのかもしれない。今回は、本年5月に現地を訪れて見聞したことから、遊びと文化(文学)の融合について事例を報告する。

市町村合併による広域スポーツ空間の再構築に関する基礎研究(2)

○浜田雄介 [広島市立大学] 迫俊道 [大阪商業大学] 服部宏治 [広島国際大学]

本研究は全国の合併自治体内の体育指導委員を対象として行われた質問紙調査から、合併後のスポーツ環境の変化を分析し、広域スポーツ空間の再編に関する基礎資料を整理することを目的としている。市町村合併と広域スポーツ空間に関する先行研究としては、合併形態(編入合併、被編入合併、新設合併)の観点から分析を試みた本報告者らによる「市町村合併による広域スポーツ空間の再構築に関する基礎研究」(2007年)がある。今回の報告においては合併形態から分析するという視点を継続して有しながら、上記の研究の中では扱われていない「運動・スポーツ施設の利用人数」「運動・スポーツ施設で行っているスポーツ種目」「運動・スポーツ施設の職員の対応」「他の団体(クラブやサークル)の方々との交流」「スポーツのクラブやイベントについての情報」「運動やスポーツイベント(スポーツ大会や教室、講習会など)の開催」、といった項目について合併前後のスポーツ環境に関する変化等をクロス集計し、クラスカル・ウォリスの検定等を行った。なお詳細な結果、考察などは学会発表当日において報告する予定である。